

「生きる力」を育む防災体験授業【子ども霞が関見学デー】

- 子どもたちの「生きる力」を育むために、危険予測や危険回避の能力が培われ、心構えと知識が行動につながるような防災体験授業を実施。
- 授業では、気象キャスターと雲や竜巻を作る実験を通して、自然の水や天気の変化について学ぶ他、働く車のミニカーや災害現場のジオラマを使いながら、自然災害の防止の重要性や、災害時に働く人たちの仕事について学習。



雲をつくる実験



堤防のはたらきについての勉強



竜巻をつくる実験



ミニカーやジオラマを使った勉強

- ・開催日時:平成27年7月29日(水)
第1回/10:30~11:30
第2回/14:00~15:00
- ・参加者:小学生未満から小学6年生
までが参加
第1回:子ども11名、引率者8名
第2回:子ども11名、引率者7名
- ・場所:国土交通省 防災センター

参加した子どもたちの感想

- 台風などのときは、あぶないところには近づかないで、「考える・気づく・すぐに行動する」ことが大切だと思った。
- 壊れた堤防をなおしたり、救急車が通れない道路をなおすことなど、災害時に働く人たちがいることがわかった。